

⑦誰もが住みやすい居住環境づくり



市営住宅の計画的な維持・更新及び適正な管理

207億8,551万円

住宅計画課、建替・改善課、住宅建設課、住宅管理課、住宅運営課

- 計画的に建替えや改善、適正な管理を実施し、市営住宅の将来にわたる安定的な運営を図ります。
 - ・ユニバーサルデザインを基本とした機能更新の推進
 - ・安全・安心を支える、建物の長寿命化の推進やエレベーターの地震対策など設備の安全性向上
 - ・地域の拠点形成に資する大規模団地の建替え
(西区下山門住宅、南区弥永住宅等)

○市営住宅の整備

<課題>

住宅の老朽化
〔築40年以上の老朽住宅
約17,100戸〕

入居者の高齢化
令和6年度末の高齢化率
〔市営住宅 約42.2%
福岡市 約22.3%〕

建物の長寿命化による
ライフサイクルコストの削減

脱炭素へ向けた取組み

<基本方針>

効率的・効果的な機能更新

- 機能更新におけるユニバーサルデザインの導入（1階は全て車いす使用者向け住戸等）
- 大規模団地の建替えにおける高齢者施設など福祉的機能等の誘導
- 高層棟の雑排水管の更新
- 既存住宅の共用部分の段差解消等、既存集会所のバリアフリー化
- 介護事業者向け駐車場の設置
- 高齢単身者向けシェアハウスの試行実施
- 建物の耐久性向上へ向けた計画修繕の実施
- 効率的な建替計画などによるコスト削減
- ZEH水準への省エネ化
- EVカーシェア事業の試行実施（継続事業）
- 既存集会所の木造による建替え（板付南住宅）



市営下山門住宅（建替後）



バリアフリー化された住戸



木造集会所（イメージ）

○市営住宅への子育て世帯の入居支援

子育て世帯への支援と高齢化が進む市営住宅の世代間バランスの確保を図るため、子育て世帯の募集枠確保等による入居支援を実施。

子育て世帯の別枠募集

全体の募集戸数に対する子育て世帯向けの割合
令和8年度 30%を目標

居住支援の推進

5億5,632万円

住宅計画課

■高齢者や子育て世帯等の誰もが安心して快適に暮らせる居住環境づくりに向けた取り組みや、空き家の活用促進やマンション管理適正化等の良質な住宅ストックの形成に向けた取り組みを進めます。

新規 ○子育て世帯市内引越し応援事業

市内に住み続けることを希望する子育て世帯への支援として、市内に居住する子育て世帯の市内での住替えに対し、住宅取得費や家賃、引越し費用等を助成します。
(住宅取得費や家賃への助成は指定する校区への新たな住替えを除く)

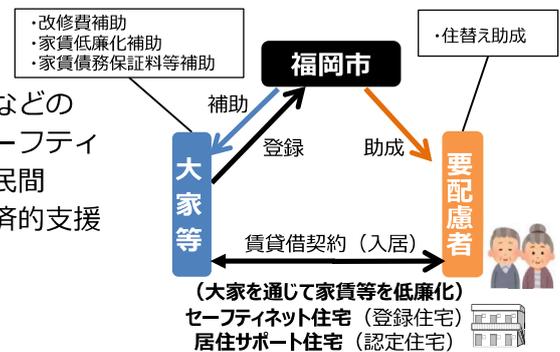


新規 ○三世帯同居・近居住替え支援事業

三世帯同居・近居への支援として、子育て又は親世帯等が市内で三世帯同居・近居するための住替えに対し、住宅取得費や家賃、引越し費用等を助成します。

拡充 ○セーフティネット住宅等入居支援事業

住宅セーフティネット機能強化を図るため、高齢者などの住宅確保要配慮者の入居を拒まない民間賃貸住宅（セーフティネット住宅）及び居住支援法人等による見守り付きの民間賃貸住宅（居住サポート住宅）への改修費補助等の経済的支援を実施します。



○高齢者の居住支援

・住まいサポートふくおか

緊急連絡先や保証人を確保できない高齢者等に対して、「支援団体」が実施する見守りや死後事務等の入居支援・生活支援サービスをコーディネートし、高齢者等の入居に協力する「協力店」へ紹介を行い、高齢者等の民間賃貸住宅への円滑な住替えを支援します。

・高齢者世帯住替え助成事業

高齢者世帯の良好な住宅への住替えを支援するため、住替えに係る初期費用の助成を行います。

GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞



住まいサポート
ふくおか

新規 ○小呂島移住者用住宅整備支援

小呂島において、離島振興計画に基づき、基幹産業である漁業や島づくりの担い手となる島外の人材を受け入れるため、民間団体による賃貸住宅整備への補助（R8：設計費）を行います。

拡充 ○空き家の活用促進

福祉施設などの地域貢献施設や、市街化調整区域を対象とした子育て世帯の定住化促進のための空き家の改修費補助の対象要件を拡充します。



活用例（交流スペース）

○マンション管理適正化推進

分譲マンションの管理適正化の推進を図るため、マンション管理計画認定制度の認定とあわせ、申請に係る費用の補助や、マンションへの専門家派遣、マンションの長期修繕計画の作成・見直しに係る費用の補助を行うなど、管理組合の取り組みを支援します。